

『with』 149号 別紙【通信制大学院コーナー】

掲載内容

- 2021年度 入学生数
- 今年度修了予定の方へ
- (新入生の方) 日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース」受講について
- レポート提出
- スクーリング
- 本学図書館の利用
- その他
- 通信制大学院修了者からのメッセージ

2021年度 入学生数

“ご入学おめでとうございます”

通信制大学院へは、9名（社会福祉学専攻4名・福祉心理学専攻5名）の方がご入学されました。心よりお喜び申し上げます。

今年度修了予定の方へ

1. 研究倫理審査申請について

研究活動にあたり、研究の方法によっては本学大学院研究倫理審査委員会の審査を受け、実施を認められる必要があります。特に、新型コロナウイルスの感染防止の観点から論文作成において、ヒヤリング、グループインタビューなどの対面、接触を伴うデータ収集は、大学院研究倫理審査委員会による検討の結果、十分な配慮がなされていると判断されれば実施が可能となります。

アンケート、対面や接触を伴うデータ収集を方法とする研究を行う方は、必ず、調査実施前に本学大学院研究倫理審査委員会の審査を受けるようにしてください。

今年度の修士論文作成が許可となった方へ、4月9日のメール“「修士論文研究倫理審査申請について（ご連絡）」”で、申請に必要な書類のひな形（下記①～③）などを送信しました。

- ① 研究倫理審査申請書（申請には指導教員の署名捺印が必要です。）
- ② 研究協力同意書
- ③ 研究協力同意撤回書
- * 研究倫理審査チェックシート

指導教員の指導を受けて作成してください。研究倫理審査申請書に指導教員の署名捺印いただいたうえ、申請（提出）してください。

研究倫理審査申請締切日	1) 6月の第二水曜日	<提出先> 通信制大学院事務室
	2) 7月の第二水曜日	
	3) 8月の第二水曜日	

審査にはおおよそ2週間を要します。すぐに承認されないこともありますので、余裕をもって申請してください。審査承認後、変更が生じた場合はその都度、変更申請書の提出が求められます。

2. 第1回中間レジュメ

構想レジュメの受付は5月18日で締め切りました。レジュメを提出する前に指導を受けることができなかった場合は、レジュメの提出後直ぐに指導を受けるようにしてください。次回、第1回中間レジュメの提出締切日は8月19日必着で提出してください。

修士論文 第1回中間レジュメ 『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 69~71	提出締切日	2021年8月19日必着
	提出方法	『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 70 参照
	執筆要領	『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 70 参照
	指導について	『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 72・73 参照

今年度はいよいよ修士論文を提出し、修了を目指されることとなります。修了までの流れをしっかりと把握しましょう。

4月初旬に送付しました『通信制大学院ガイドブック 2021』**2章 修士論文の作成** p. 64~83を読み、下記の(1)~(6)について再度確認してください。修士論文提出締切日【2022年1月20日(午後4時)】は、『2021年度 学年暦』をご参照ください。ご不明な点は、事務室にお問い合わせください。

- (1) 今年度、修士論文の作成が許可された方には、前年度末に「面接指導票」および「通信指導票」を送付しております。届いていない場合は、お知らせください。
- (2) 前年度までに修士論文の執筆の準備として、論文の書き方や方法論について学習することをお勧めしておりますが、十分でない方は『通信制大学院ガイドブック 2021』p. 36~67をよくお読みになり、急ぎ理解を深めてください。
- (3) 指導を受けるにあたり手続きなどについては、『通信制大学院ガイドブック 2021』p. 72~73を必ず読んでください。疑問点については、事務室までお問い合わせいただき、早めに解消するようにしましょう。
- (4) 第2回中間レジュメ提出時(10/25締切)に「修士論文提出願」を添付いただきますが、それまでに担当教員から論文の指導を十分に受けていない、論文の進捗状況が芳しくないなどの場合、修士論文の提出が許可されません。しっかりと計画を立て、論文を執筆するようにしてください。
- (5) 論文の執筆以外に、授業科目の単位修得が必要な方は、7月(遅くとも9月)までにはレポートを提出し、後半は修士論文作成に集中できるようにしましょう。
- (6) 修士論文の最終試験となる口述試問の日程変更は一切応じられませんので、予めご了承ください。『2021年度 学年暦』で日程をご確認ください。

(新入生の方) 日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース」受講について

入学時にご案内しておりました、日本学術振興会「研究倫理 e-ラーニングコース (e-Learning Course on Research Ethics) [eL CoRE]」の受講につきまして、4月初旬に日本学術振興会より、個人の大学メールアドレス宛に ID・パスワードの通知がされていますのでご確認ください。未着の方は、至急事務室までご連絡ください。

【受講方法】

- ①日本学術振興会より届く ID・パスワードを確認。
- ②下記 URL サイトにアクセスし、ID・パスワードを入力、ログインのうえ受講。
(<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>)
- ③受講完了後は「修了証書」を、PDF データで下記提出先へメールで提出。

提出先	本学 研究企画推進課 永浦【nagaura@tfu-mail.tfu.ac.jp】宛
提出締切日	2021年8月31日必着

注)「修了証書」提出先は事務室とは異なります。お間違えの無いようお願いいたします。

レポート提出

『通信制大学院ガイドブック 2021』にはレポートや在宅レポート試験などについて説明しております。『通信制大学院ガイドブック 2021』p.25~28 をお読みいただき、再度下記の点についてご確認ください（提出締切日は『2021年度 学年暦』を参照）。

- (1) 履修方法が SR の科目ではスクーリング全日程終了後、『科目別ガイドブック 2021』に記載している課題について事後課題のレポートを事務室に提出する必要があります。スクーリングの事前課題やスクーリング中の課題とは異なりますので、ご注意ください。
- (2) 事後課題のレポートは、スクーリングに出席した年度内に提出してください。今年度の提出期限は、1月7日です。提出方法などは、『科目別ガイドブック 2021』p.7の「1課題レポート提出」をご覧ください。
- (3) レポートを提出する際は、必ず『科目別ガイドブック 2021』の p.6~14 をよくお読みください。課題レポートと試験レポートは、提出方法が異なりますのでご注意ください。
- (4) R 科目の課題レポート提出締切は、今年度単位を修得したい科目の課題レポートについては、1月7日（今年度修了予定の方は12月2日）です。締切後1ヵ月程度の添削期間があり、添削後レポート返却となります。この時点で評価が再提出となった場合は、再度提出して合格する必要がありますので、今年度の単位修得はできなくなります。
- (5) 在宅レポート試験（単位修得試験）は、各科目のレポート2課題に合格後、1週間程度で事務室から試験問題を送付します。
- (6) 試験レポートの最終提出締切は、2月24日（今年度修了予定の方は1月26日）です。今年度最終の締切日までに提出した試験レポートの評価が不合格（再提出）の場合や

締切に遅れた場合は、次年度に単位を修得することになります。『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 26 をお読みください。

- (7) 試験レポートは、年 4 回の締め切りを設けております（提出締切日は『2021 年度学年暦』を参照）。今年度中に単位を修得したい科目については、3 回目の試験レポート提出までに終わらせ、最終の 4 回目では 3 回目までに評価が不合格（再提出）になった科目や来年度に単位修得しても構わない科目の試験レポートを提出するように計画を立てるとよいでしょう。

スクーリング

スクーリングについて、『通信制大学院ガイドブック 2021』の p. 27～29 をお読みいただき、下記の点について再度ご確認ください。

- (1) スクーリングは、全日程出席してください。日程の一部欠席や遅刻・早退をした場合は、単位の修得はできません。また、事前課題には必ず取り組みましょう。
- (2) 今年度履修登録をした SR 科目については、今年度スクーリングに出席するとみなしますので、やむを得ない事情により欠席する場合は『通信制大学院ガイドブック 2021』 p. 28 の「受講手続き」の 2) に基づき事務室にご連絡ください。
- (3) 昨年度までに履修登録を済ませ、スクーリングに出席していない SR 科目について、今年度スクーリング出席を希望する方は、今年度の履修登録時にお知らせいただくようにご案内しておりました。申し出のない方は、スクーリングに出席できませんので予めご了承ください。また、スクーリングの事前事後課題は、今年度の課題（『科目別ガイドブック 2021』）に取り組むようにしてください。
- (4) 演習科目の単位を修得するためには、社会福祉学専攻では同研究科目、福祉心理学専攻では同選択講義科目の単位修得が必要になります。ご注意ください。
- (5) 今年度のスクーリング日程については、『2021 年度 学年暦』のほか本学通教育部・通信制大学院ホームページの「2021 年度スクーリング日程一覧」をご覧ください。
- (6) 6 月～7 月の会場でのスクーリングについて、会場をお知らせします（日程順）。

【注意】演習科目は、状況に応じて会場ではなくリモートで実施します。

福祉心理学研究法特論・実践事例検討は、状況に応じて中止（日程変更）する場合があります。

日程	科目	会場（会場 or リモートの科目は、会場の場合の教室です。）
6/19・20	福祉心理学研究法特論	仙台駅東口キャンパス 3 階「演習室 4」
7/2～4	心理：演習（学校・教育心理学）	仙台駅東口キャンパス 3 階「演習室 4」
7/10	ソーシャルワーク演習	仙台駅東口キャンパス 3 階「演習室 4」
7/11	高齢者福祉演習	仙台駅東口キャンパス 3 階「演習室 4」
7/17・18	認知症ケア演習／心理：演習（高齢者心理学）	仙台駅東口キャンパス 3 階「演習室 4」
8/14・15	社会福祉政策演習	『with』150 号【大学院コーナー】で案内します。
8/21・22	ソーシャルワーク演習	『with』150 号【大学院コーナー】で案内します。
9/4・5	心理：演習（発達心理学）	『with』150 号【大学院コーナー】で案内します。
9/25・26	高齢者福祉演習	『with』150 号【大学院コーナー】で案内します。
11/13・14	実践事例検討	『with』150 号 or 151 号【大学院コーナー】で案内します。

8 月以降の会場は、『with』150 号・151 号 別紙【大学院コーナー】でお知らせします。

本学図書館の利用

6月1日より通常開館の再開を予定しています。ただし、新型コロナウイルス感染状況によっては急遽変更になることがございます。また、開館は変則的ですので、最新情報を本学図書館ホームページで確認する、または図書館に問い合わせたうえでご来館頂きますようお願いいたします。なお、本学の図書館を利用する際は、必ず学生証を持参してください。

宅配便での貸出サービスも行っています。貸出方法など図書館関係のお問い合わせは、直接図書館あてにお願いします。

その他

- (1) 進級手続き済みの方へは、『2021年度学年暦』『科目別ガイドブック 2021』『通信制大学院ガイドブック 2021』など副教材をお送りしました。ご不明な点がございましたら、お手数でも事務室までお知らせください。(2019年入学の福祉心理学専攻の方は『科目別ガイドブック 2019』から変更がないため、引き続き『科目別ガイドブック 2019』を使用してください。)
- (2) 履修登録用紙を提出締切日4月13日までに送付いただいた方には、教科書の発送は完了いたしました。教科書に間違いや不足などがいないか、同封の手紙でご確認ください。不足などについては、教科書到着後2週間以内にお知らせくださるようお願いしております。それ以後の教科書不足については、購入となりますので予めご了承ください。
- (3) 機関紙『With』の【通信制大学院コーナー】は、別紙での送付とさせていただきます。今後の発送予定日は、7/15(vol.150)、9/17(vol.151)、11/11(vol.152)、1/20(vol.153)、3/10(vol.154)です。予定日より1週間経過しても届かない場合は、お手数でも事務室へお問い合わせください。
- (4) 悩んでいらっしゃる、わからないことなどがございましたら、どんなことでも結構ですので、そのままになさらずにお問い合わせください。

通信制大学院修了者からのメッセージ

通信制大学院での学修を終え、修了された方より修士論文作成にあたり、後輩の方々へのメッセージをいただきました。

修了された皆様のご健康・ご活躍を祈念しております。

「修士論文完成に向けての取組について」

社会福祉学専攻 本間 良 (2020年度修了)

通信制大学院を修了した今、思うことは、この機関紙『With』に寄稿された先輩の方々からのメッセージは、重要なポイントが集約され、論文を作成するうえで大変有益であったということです。私からも皆さんに向けたメッセージとして少しでも役立つと思うことを2点お伝えします。

1. 論文作成に力を入れることのできる環境づくり

論文作成の原点は何か。言い換えると、なぜ自分は大学院の門を叩いたか常に問われます。大学院で何を研究したいのかが明確であれば、自ずと意欲・集中力を持続させる力になるはずですが、論文作成は孤独な作業です。しかし、院生同士のチームとしての力を生かすことが、「やる気」の維持にとっても役に立ちます。私は「よし、やるぞ」と気持ちを切り替える時には、他の院生にLINEを通じて宣言することで、集中することができました。この繰り返しは自分だけでなく、他の院生の「やる気」の向上にもつながり、お互いにプラス効果が生まれます。各々の研究テーマは異なっていますが、取組むための気持ちの準備は共通しています。

また、限られた時間を有効に活用するためには通信制のメリット、デメリットを十分に理解しておくことが必要です。仕事と両立しながら研究を進める者にとって、時間に融通が利くという点で通信制のメリットはありますが、これは両刃の剣です。この落とし穴には十分に気を付けなければなりません。私は修了に必要な課題レポートの作成・試験を1年次で終え、2年次の論文作成の時間を確保しました。これは、この機関紙『With』に寄稿された先輩からのメッセージにより、論文を仕上げるためにはタイムマネジメントは必須であると意識したことで、行動につなげることができたのだと思います。

2. 論文作成過程におけるポイント

入学当初の研究計画書を実際に調査研究が可能なレベルまで到達するプロセスにおいて、多くの先行研究などの資料を収集することになります。重要な点は、先行研究を読み込んだ後の処理です。こうした資料を効率よく活用するためには、常に整理しておくことです。私が行った整理方法は、カテゴリー別にチューブファイルに綴じ、資料ごとにインデックスを使用し、必要な時にすぐに読み返すことができるようにしました。単純なことなのですが、整理を怠ると、見たい時にその記述箇所を探すのに手間取ってしまいます。これでは、非効率ですし、無駄な労力を使うことでモチベーションが低下してしまいます。また、先行研究を読む視点として、「何が分かって、何が明らかにされていないか」を意識し、整理しておくとういでしょう。引用文献として活用する際にとっても役立ちました。

次に、スクーリング、面接・通信指導、構想・中間レジュメについてですが、それぞれのステップにおける取組は、研究を進めるうえでの課題が明確になり、その課題に取組むことで研究の焦点が絞られていきます。通信制大学院ガイドブックの「論文合格までの進め方」を繰り返し読み、ご自身の研究の進捗をこの流れに合わせる意識をしっかりとつことが、時期を逃さない取組につながります。論文作成の取り掛かりは1年次から始まっています。私は1年次のスクーリングにおいて担当教員に研究テーマに即した分析方法を質問したことで、調査から分析方法に至るまで、具体的にイメージできる構想の目途が立ちました。しかし、その後の「学位請求論文研究計画書」の作成を経て、2年次に入ったところで予期しない出来事（新型コロナウイルス）により、対応を迫られることになり、研究倫理審査申請書の作成においては、調査対象の変更や、調査方法の選択肢を増やすなど状況に合わせた対応が求められました。今後の状況は刻々と変化することを想定し、イレギュラーなことへの対応が求められた際、時期を逃さず取組むことを念頭におかなければなりません。

最後になりますが、実際の私の経験から言えることですが、論文を作成するうえで逆風と思える状況は、新たな視点の発見や後押しになることもあります。厳しい環境下においての制約が続きますが、この通信制大学院で学ぶ貴重な機会に、皆さまにとって納得のいく論文に仕上がることを願っています。そして、この学びが皆さまの今後に有益に展開されることを期待いたします。

「修士論文作成にあたっての留意点」

社会福祉学専攻 横川 真宜 (2020 年度修了)

1 先行研究の整理こそ研究の礎 (資料収集)

通信制の大学院を選ばれたということで、多くの方は学部時代の卒業論文を引き継ぎ発展させるというよりは、実際に臨床で働く中で見えてきた課題や実践方法をご自身の中で一定の整理や根拠づけをするために入学された方も多いことと思います。そういった意味において、すでに研究目的や内容、研究手法についてもある程度見通しを持たれているのではないのでしょうか。中には職場等で実践報告を積み上げてきた方もいることと思います。すぐにでもアンケートやインタビューなどの調査に取り組もうと考えている方もいるかもしれません。しかしながら、私がここで皆様にお伝えできることがあるとすれば、まずは先人の軌跡を辿ることです。先行研究の収集と整理を通して、ご自身の課題意識を再度検証することができます。場合によっては、すでに問題に対する一定の解答が示されている可能性もありますし、そもそも「研究とは何か」を理解する一助となるはずです。誤解を恐れずに述べれば、実践報告と(実践)研究は重なる部分もありますが、似て非なるものといえます。

私の場合、入学前は CiNii での論文検索、学会誌を中心に先行研究を整理しておりましたが、入学後しばらくは図書館を活用しました。通信制の悩みでもありますが、本学図書館の利用には物理的な距離の問題もあり、スクーリング時以外に活用することができなかったことは残念でなりません。郵送サービスもありますが、その場合、該当の図書に目星がついていなければなりません。研究当初はあまり絞り込みすぎずに、関連領域の図書にも触れることをお勧めします。そうすることで自分では考えもしなかった分析手法や論文の体裁についても学ぶことができるからです。私は幸いなことに自宅近くの福祉系大学の図書館が開放されていたこともあり、1年次の間は月に1、2度はそちらの図書館を利用させてもらいました。しかしながら2020年に入り、新型コロナウイルス感染症が流行すると、こうした図書館を利用することは叶わなくなり、書籍や雑誌の購入もしましたが、手に入らないものも多かったため資料集めはもっぱら国立国会図書館の遠隔複写サービスを利用することになりました。この頃はすでに手元にある論文等が参考・引用している論文の入手にシフトしていたため、いわば芋づる式に何度も国立国会図書館の遠隔複写サービスを利用することになりました。

この他、行政への開示請求、ソ教連の全国社会福祉教育セミナー参加、関係団体の調査報告書など、広く情報収集を行いました。

なお、こうした先行研究の整理はその都度、その書籍や論文に何が書かれていたのかまとめることをお勧めします。私の場合は先行研究ごとに簡単な要旨と将来的に引用できそ

うな部分については抜き出してワードファイルにまとめておきました。こうすることで、本業などで限られた研究時間の中で何度も資料を探す必要がなくなり時間を有効に使うことができました。

2 コロナ禍における研究活動

先述の通り、各地の図書館が利用しづらくなってからの資料集めは国立国会図書館の遠隔複写サービスを利用しました。依頼してから資料が届くまで時間がかかるのと、いつくるかわからない部分もあるので早めに依頼することをお勧めします。

また研究手法として郵送アンケート調査並びに半構造的インタビュー調査を実施したのですが、新型コロナウイルス感染症の流行時ということもあり、インタビューはオンラインで行いました。人を対象とした調査でしたので、アンケート調査も含め、倫理審査にかける必要がありましたが、通常の配慮事項に加え、感染症対策についても検討し記載する必要がありました。倫理審査の結果、修正を余儀なくされる可能性もあるので、早めに提出されることをお勧めします。私の場合は調査票による調査とオンラインでのインタビューという形で実施することができましたが、施設等での参与観察などの手法を選択していた場合、感染状況によっては行えない可能性もあることから、研究手法の設定ないし調査対象の調整には万全を期す必要があります。

3 研究手法や分析方法について

最後に1年次のうちに、質的データのまとめ方のワークショップに参加したり、統計学の書籍を読み込んだりすることをお勧めします。私自身は叶わなかったことから、特にアンケート調査結果が単純集計等にとどまってしまい稚拙な論文となってしまったことは否めません。率直にデータサイエンスの準備をしておくべきでした。一方で、私は1年次の時に他大学の紀要に投稿する機会を得たことから、インタビュー実施における同意書や撤回書、論文執筆の一連の流れを体験することができ、このことは修士論文作成の上で大いに役立ちました。

4 おわりに

引き続き新型コロナウイルス感染症の断続的な感染拡大が繰り返される中で、仕事と生活の両立だけでも大変な中、どのように研究を行えるか不安に感じておられる方もいらっしゃると思います。まず指導教員の先生に相談し、研究計画を共有することが重要です。また1年次生の方は、焦らず研究の基礎力を培われることが突破口となることと思います。

修士論文執筆は苦しいことも多いと思いますが、納得のいく修論を完成されますことを心よりお祈りしております。